

蕃地事務局

蓬萊社惣代吹田久則ヨリ陸軍病院へ蕃地  
御為張ニ手代木村而造私費ヨリ隨行云々

願日四月十

別紙之通蓬萊社惣代ヨリ願出候ニ付何分御指  
令相成度此段申出候也

四月十日

一寺副監督川崎祐右  
蕃地事務局

南中

別紙

奉願口上

二十七

蕃地事務局

其御院出納在諸御用達被仰付難有仕合奉存  
候然此今般臺灣地御出張相成候ニ付テハ御  
用向精々尽力仕度奉存候間弊社召使手代共  
之内社費ヲ以木村市造ト申者御召連奉願度  
然ル上ハ同所ニ於テ金銀出納初諸御用筋如  
何体ニモ為相勤申度奉存候間何卒前願意  
御採用被成下候様伏テ奉願上候以上

明治七年四月十日

蓬萊社惣代

吹田久則印

陸軍本病院

第三課御中

書面吹田久則願之趣平常第三課出納受拂申  
付有之候上者聞届不苦候得共既ニ三井小野  
両組ハ金額受拂申付為之手當支度料ヲモ差  
遣候末之儀ニ付一事而端ニ相分候テハ不都  
合ニ無之候哉尤自費ヲ以便船願滿着藩之上  
便宜相應之用向申付候儀者差支有之間敷事

明治四年四月十一日

陸軍本病院

蕃地事務局

蕃地事務局

秋田縣へ木村繁之助蕃地隨行願聞届ノ達

四月十一日  
茂

其縣貫屬士族木村繁之助へ別紙ノ通及御達候  
間此段為心得相達候也

七年四月十一日 蕃地事務局

秋田縣廳

出張所

秋田縣貫屬士族

二十八

蕃地事務局